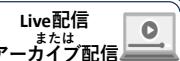


★ 「どのような方法で観察し、分離・培養を行えばよいか？」

「検出した微生物をどのように方法で同定すればよいか？」具体例を交えて解説！

セミナーNo.602105



微生物 分離・培養、同定 および 微生物試験の実践的方法

●日 時:2026年2月20日(金) 10:30~16:00

●会場:Zoomを使用したLive配信

※アーカイブ配信は3/4~3/14に実施

●聴講料:1名につき 55,000円(消費税込、資料付)
〔1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき49,500円(税込)〕
〔大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。〕

●講 師: (株)テクノスルガ・ラボ 技術部 同定課 主席研究員 喜友名 朝彦 氏

◆習得できる知識◆ :

- ・実験室で取扱う微生物（細菌、酵母、カビ）の基礎的特徴と見分け方
- ・微生物実験の基本操作および注意点
- ・微生物分離・培養、同定および保存管理にいたる微生物試験の実践的方法
- ・微生物試験のトラブル対策法、品質管理方法

【講演主旨】

微生物は目に見えない生物の総称であり、食品や製造現場など様々な環境に発生します。本講座では、最初に実験室で取り扱うことが多い微生物（細菌、カビ、酵母）の基礎知識や見分け方について解説します。また、これらの微生物を調べるために発生する、「どのような方法で観察し、分離・培養を行えばよいか？」、「検出した微生物をどのように方法で同定すればよいか？」などの問題を解決しながら、正しく微生物を取り扱うために、基本的な微生物の取り扱い、分離・培養・同定、保存方法や品質管理の方法について具体例を交えて解説します。

1. 微生物とは～微生物の基礎知識～

- 1.1. 微生物とは何か
- 1.2. 微生物の種類と見分け方～細菌、カビ・酵母～
- 1.3. 微生物の分類と同定の考え方
- 1.4. 微生物の学名表記のルールとその見方

2. 微生物実験室における日常安全管理
～微生物取り扱いの基礎～

- 2.1. 微生物実験室における一般的な注意事項
- 2.2. 微生物実験で使用する基本的な設備と機器類
- 2.3. 微生物の取り扱い
～無菌操作、滅菌方法、バイオセーフティ～

3. 微生物の増殖および分離・培養方法

- 3.1. 微生物の増殖に必要な条件
- 3.2. 培地と培養方法
- 3.3. 分離・培養方法

4. 微生物の同定方法

- 4.1. 培養性状、形態観察法、生理・生化学性状
 - 4.1.1. 細菌
 - 4.1.2. 酵母
 - 4.1.3. カビ

4.2. DNA塩基配列解析法

- 4.3. MALDI-TOF MS法
- 4.4. 各同定方法の比較

5. 微生物の保存管理方法

- 5.1. 繼代培養法
- 5.2. 乾燥保存法～L-乾燥法・凍結乾燥法
- 5.3. 凍結保存法

6. 微生物試験の進め方
～異物・異常品の実例、観察、分離・培養、同定から保存まで～

7. 微生物試験におけるトラブルと対策

8. 微生物検査員の教育

9. 微生物試験の品質管理

「微生物」セミナー申込書

(Live配信/アーカイブ配信 下記のいずれかに□を入れてください)

Live配信 (No.602105)

開催日:2/20

アーカイブ配信 (No.603151)

配信期間:3/4~3/14

・申込書に必要事項をご記入の上、FAX(03-5436-7745)にてお申込みください。

・ホームページからも申込できます。 <https://www.gijutu.co.jp/>

会社名		事業所・事業部	
住所	〒		
TEL		携帯電話	
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			

今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください)

[郵送(宅配便)・ショートメッセージ(携帯電話)・e-mail]

個人情報の利用目的

- ・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため
- ・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします
- ・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため

●申込方法

1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。

2. お申し込み後はキャンセルできません。

受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂くことがあります。

4. 定員になり次第、申込みは締切となります